

チャノキイロアザミウマ情報第3号

平成26年7月1日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

1 発生の状況

黄色粘着トラップによるチャノキイロアザミウマ成虫の誘殺数は、南知多町、蒲郡市、豊橋市では平年並、東浦町では平年より少ない状況です（図）。

6月下旬に行った、ほ場周囲における本種の生息数調査（カンキツ24ほ場及びブドウ15ほ場のイヌマキ（防風垣）10新梢の払い落とし虫数）の結果、カンキツで11.4頭（平年11.9頭、前年3.0頭）、ブドウで4.6頭（平年4.7頭、前年3.0頭）となり、カンキツ、ブドウともに平年並の発生量です。

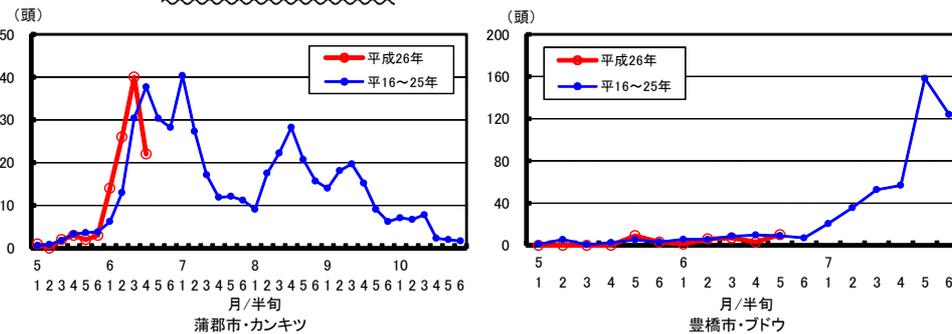


図 黄色粘着トラップによるチャノキイロアザミウマ成虫誘殺状況

2 発生ピークの予測と防除

稲武を除いた地域における第3世代成虫の発生ピーク予測日は、ほぼ前年並の7月5日から13日です（表1）。成虫の発生ピーク時が防除適期ですので、発生の多いほ場では、表2を参考に防除しましょう。

表1 チャノキイロアザミウマ成虫の発生ピーク予測日

	愛西	南知多	名古屋	豊田	岡崎	蒲郡	豊橋	伊良湖	新城	稲武
第2世代	6/17	6/18	6/13	6/17	6/19	6/17	6/19	6/18	6/22	7/11
第3世代	7/8	7/10	7/5	7/9	7/11	7/9	7/10	7/10	7/13	8/3
（前年）	7/10	7/10	7/6	7/11	7/12	7/10	7/10	7/10	7/14	7/10 [*]
前年差	2日早	±0	1日早	2日早	1日早	1日早	±0	±0	1日早	1日遅 [*]
第4世代	7/27	7/29	7/23	7/28	7/29	7/28	7/28	7/29	8/1	8/25

各地のアメダス平均気温から予測。 ※稲武については、第2世代の前年ピーク日と前年差。6月30日までは実測値を、それ以降は平年値（豊橋のみ前年値）を用いて計算。前年の第3世代は、前年気温の実測値を用いて計算。

表2 チャノキイロアザミウマの主な防除薬剤

作物	薬剤名
ブドウ	アディオン水和剤
	コルト顆粒水和剤
	ダントツ水溶剤
カキ	MR. ジョーカー水和剤
	アグロスリン水和剤
	アドマイヤー顆粒水和剤
	モスピラン顆粒水溶剤
カンキツ	アドマイヤー顆粒水和剤
	デミリン/レターデン水和剤
	ベストガード水溶剤
	モスピラン顆粒水溶剤

農薬の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努めましょう。